

一等米比率を高めよう!

2019年産米の位置づけ

	名称	位置づけ	基準
コシヒカリ	特別栽培米「夢たんば」	特別栽培米「夢たんば」栽培こよみに準じて栽培され安全が確認されたもの。	①種子更新 ②農産物検査の受検 ③栽培履歴の記録 ④特別栽培米「夢たんば」専用の栽培圃に準じた栽培 ⑤ひょうご安心ブランドの認証 土づくりを基本に化学的に合成された肥料及び農薬の使用を50%以上低減 ⑥安全、安心検査(残留農薬検査等)
	丹波ひかみ米	丹波ひかみ米栽培こよみに準じて栽培され、安全が確認されたもの。	①種子更新 ②農産物検査の受検 ③栽培履歴の記録 ④安全、安心検査(残留農薬検査等)

※「夢たんば」栽培につきましては、事前にJAとの栽培契約や「夢たんば生産部会」への加入が必要ですので詳しくは各営農支援センター、または営農相談員にお尋ねください。

カメムシ類による斑点米対策

カメムシ類による斑点米が乳白米と並び、品位低下の最たる原因となっている。層にそって防除を徹底する。

カメムシ類の習性：カメムシは、圃場の周囲のイネ科の草に留まり、出穂後に圃場に侵入し、籾の汁を吸う。また、本田にノビエ等の雑草が生えていると早い時期からカメムシが飛来し、密度が高まってしまう。

出穂までの間に、圃場の周囲の草刈りを集落ぐるみで行うことにより、被害を減少させることができる。なお、出穂後に草刈りを行うと周囲にいたカメムシが圃場に侵入するので行わない。(個人での草刈りは周囲の圃場にカメムシが移動してしまう恐れがある。)

カメムシ類の防除については(p13.14)の病害虫防除基準を参照しましょう。

乳白米対策

乳白米は「籾数が多すぎる」「低温・高温による登熟不足」「光合成を維持するための空莖の極端な不足」「出穂後の水不足、早期落水」等の要因により、玄米への転流不足が起り、玄米に十分なデンプンが蓄積されず、空気の隙間ができてしまい、玄米が白く濁って見える状態。

乳白米対策	水 管 理	穂が見えてからは、夜間の水溜を下げるために圃場に水を入れる場合は、午前中から入れるのではなく、夕方から入れるようにする。こうすることで夜間の気温が高くなっても水溜はさほど上がらず、根を健全に保つことができるため、乳白米の発生が軽減できる。
	適期刈り取りの励行	早刈りに注意する。全籾数の85%程度が黄色くなった頃に刈り取りを行う。
	土 づ ぐ り	しっかりした根を収穫まで維持し、日照りによる登熟不足を防ぐためには、前年の秋の段階からケイ酸・ようりの補給をして、できるだけ深く耕しておくことが重要。さらに、秋冬の間しっかりと乾かすことで、土の構造が団粒化し、適度な空気を持った土壌になり、酸素を含んだ新しい水が根の先まで入り込み、健全な根株づくりに繋がる。

栽培層にそって十分な管理を心がけ、乳白米の減少に努めましょう。